



広報

なほ

市民の友

第679号 毎月1回発行
2007年(平成19年)

8月

発行●那覇市 編集●秘書広報課
〒900-8585 那覇市泉崎1丁目1番1号
☎867-0111 ●印刷 (株)近代美術

市の人口と世帯	
※()内はうち外国人	
2007(平成19)年6月末現在	
総人口	316,213 (2,009)
男女	152,657 (1,053) 163,556 (956)
世帯数	130,778 (1,192)
住民基本台帳人口の内訳(外国人を除く)	
本 庁	93,446
真和志	105,151
首 里	58,174
小 祿	57,433



那覇を想い、愛し、楽しもう!

7月8日は「なほの日」

語り合わせで「なほ」と読める7月8日を「なほの日」と定め、多くの人々が那覇について語り、那覇のことを想い、那覇を愛し、那覇のためにできることを行い、那覇を再認識しよう。なほの日制定実行委員会が主催となって、7月8日を中心に前後の数日間に行われ、「なほっていいよね」を合い言葉に、市内各地で様々なイベントが開催されました。メイン会場となった那覇市ぶんかテンプス館前広場では、指笛コンサートや沖縄の昔話の朗読のほか、明るい未来を感じさせるかのように、将来の那覇を担う子どもたちが、演劇やエイサー、創作ダンスなどで、はつらつとした姿と明るい笑顔を振りまいていました。

また、那覇市の歴史や文化に興味を持ち、愛着を持ってもらおうと、壺屋焼物博物館では、親子写真会が開かれ、参加した20組余の親子連れが、壺屋の歴史と文化に触れながら、思い思いにシーサーや壺屋の自然を描いていました。

このほか、世界遺産の識名園や玉陵、歴史博物館などの那覇市文化施設が無料開放され、多くの人たちでにぎわいました。

実行委員会では、「なほの日」の定着を図るため、今後イベントを続けることとしています。

家庭の天ぷら油が生まれ変わります
平成19年度国民健康保険税の
税率改定に対する「理解について」
健康増進・環境学習のための協働の場
環境の杜ふれあいオープン

6 4 3
7 5

協働のまちづくり 那覇を紡ぐ

2005年5月号から連載が始まった、協働のまちづくり「那覇を紡ぐ」も、先月発行の7月号の回で25回目となり、丸2年を経過しました。

その間、市民のみならず企業・事業者・各種関係団体のみならず行政による様々な協働の形を紹介してきました。25回の中で最も多かった協働の事例は、まち(地域)づくりに関するものでした。

第1回目に取り上げた、久米地域の「くくにんだなみち」や8回目の首里石嶺10回目の首里金城町地域の地域づくりの取り組みなどは、より良い地域づくりのために、地域のみならず、考えを出し合い、地域特色や文化を生かした、誇りの持てる地域づくりの取り組みとして興味深いものでした。

また、13回目で紹介した久茂地域のみならずによる地域づくりは、手作り鯉のぼりを通して、地域コミュニティの広がり、地域の活性化を図るとともに、子どもたちが安心して成長できる環境づくりも目指していました。

協働の取り組みの中でも、子育てや子どもの安全確保・地域防犯も多くの方々が力を入れています。保育所経験のない子どもたちや子育て経験の浅いお母さん方の情



「協働」とは、まちづくりのために、市民・事業者・市民団体・行政などが、それぞれの特性を発揮しながら協力しあうことです。

「那覇を紡ぐ」を振り返って

連載開始当初から、多くの市民・企業・事業者のみならずの協力の下、みんなが誇れる、すばらしい街・那覇市の実現のために、各自が持つ特性を生かし、協働で力を尽くすという動きが広まってきています。また、高校生が道路ボランティアに参加するなど、若い世代にも広がっている協働の取り組みを、これからも協働のまちづくり「那覇を紡ぐ」では、紹介していきます。



なほの日を前に国際通り周辺を協働で清掃する事業所のみなさんと市職員。

本紙は「カラーバリアフリー(色覚障壁の除去)」につとめています。

お気づきの点がありましたらお寄せください。
☎862-9942 秘書広報課

再生紙を使用しています。